

## 特別展

# 出光美術館所蔵 茶道具名品展

2026年2月3日(火)～3月22日(日)

公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館



① 色絵芥子文茶壺 野々村仁清 江戸時代前期 重要文化財

白化粧を施したふくよかな茶壺の胴に金、銀、赤などの色絵で、芥子の花の高低咲き乱れる様をリズムカルに表現しているのは巧みです。(「一、床飾りの茶道具」で展示)

【展示作品】約70点(展示替あり)

\* 出陳作品は全て出光美術館蔵 \* 展示期間の表記がないものは通期展示

### 【概要】

大倉集古館は日本初の財団法人の私立美術館として1917年に大倉喜八郎に創設されて以来、東洋・日本美術の作品の収集・保存・公開に努め、様々なテーマで展覧会を開催してまいりました。

そしてこのたび、当館では2025年度の特別展として茶の湯に関する展覧会を開催することとなりました。茶の湯の美術は日本美術の中にあって、その一翼を担っている不可欠な分野であり、そこで使われる道具類は、絵画・書跡・陶磁・金工・漆工・木竹工などあらゆる分野にまたがっております。

本展覧会では、出光美術館が所蔵する多くの名品の中から、茶道具を構成する多種多様な約70件の作品を通して、日本美術を横断的に鑑賞する機会をご提供いたします。

### 【構成】

#### 一、床飾りの茶道具

茶の湯における床飾りは室町時代の足利将軍家の書院飾りに始まるとされています。書院に作られた押板といわれる床の間の原型には掛物や三具足(香炉・燭台・花瓶)が飾られました。村田珠光(1423～1502)によって、侘茶が創始され、茶の湯が多様化してゆく過程で床には様々な道具が飾られるようになりました。亭主の趣向を表す「第一の道具」として床には掛物が掛けられますが、このほかにも花・花生、茶壺、香炉、文房具などが飾られたりします。



玉畹梵芳(ぎょくえんぼんぼう 1348 頃 - 1420 頃)は、京都五山の建仁寺、南禅寺の住持をつとめた禅僧。隠逸を好んだ文人的性格で、風月を友とし、墨蘭図を得意とした。

②蘭石図 玉畹梵芳 南北朝～室町時代  
重要美術品【前期展示】

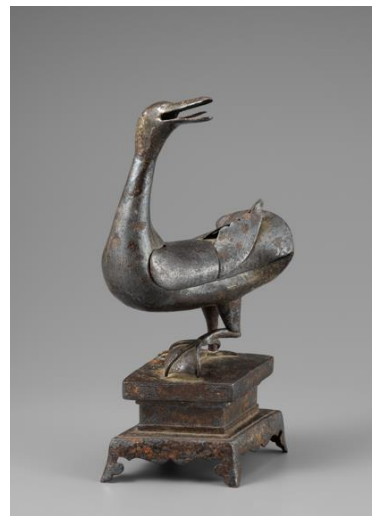


沢庵宗彭(たくあんそうほう 1573 - 1646)は、江戸前期の臨済宗の僧で、大徳寺の住持となる。書画・詩文に通じ、茶の湯にも親しみ多くの墨跡を残している。

③一行書「山雲溪月」沢庵宗彭 江戸時代前期  
【後期展示】



④青磁下蕪花生 中国・南宋時代  
南宋官窯 鹿島家伝来 重要文化財



⑤鉄地銀象嵌雁香炉 中国・明時代

## 二、点前の茶道具

点前には釜・水指・茶入・茶碗・茶杓・香合などが用いられますが、これらは床飾りの掛物や花入などとともに、季節や場、茶事の趣旨に応じて様々に取り合わせられます。茶席では道具の取り合わせや個々の道具を鑑賞することが一つの醍醐味となっています。そして、茶入・茶碗・茶杓・香合などは、客が実際に手に取って拝見する機会のある点も心躍るものとなるでしょう。



⑥肩衝茶入 銘 師匠坊  
南宋時代 福建系 大名物 前田家伝来



⑦井戸茶碗 銘 奈良 朝鮮・朝鮮王朝時代  
黒田家伝来 重要美術品



⑧祥瑞蜜柑水指 中国・明時代末期  
景德鎮窯 本願寺伝来



⑨古芦屋松竹梅文釜 室町時代  
芦屋 重要美術品

### 三、近代の茶道具

茶の湯で用いられる道具は、伝来のものばかりではありません。職人や作家の手によって、新しい茶道具が作られ、亭主の好みで取り合わされてゆきます。千家十職のように代々、技や型が継承されて形を成したのもあれば、作家や趣味人たちの手によって生み出された作品もあります。本章では、近代に焦点を絞り、出光コレクションを代表する近代の陶芸家・板谷波山(1872~1963)を中心に、近現代に作られた茶道具をご紹介します。

⑩彩磁呉須絵花生 板谷波山 1952年



### 四、懐石のうつわ

茶の湯では、懐石(食事)を伴った茶事が正式といわれ、一般的な茶事では濃茶・薄茶が供されますが、客は場に合わせて濃茶の前後に懐石でもてなされます。懐石は料理だけではなく、料理を供するための器も見どころの一つです。膳の向こうに置かれる向付や取り回される鉢や皿は、料理とともに吟味され客の目を楽しませてくれます。これらのうつわには季節や趣向、亭主の好みも反映されます。本章では、唐津や織部、色絵や染付などの陶磁器をご紹介します。



⑪色絵魚介文鮑形鉢 中国・明時代末期 景德鎮窯

【展覧会名】特別展「出光美術館所蔵 茶道具名品展」

The Best of Japanese Tea Utensils, Collection of Idemitsu Museum of Arts

【会期】2026年2月3日(火)～3月22日(日)

\*前期：2月3日(火)～23日(月・祝)

\*後期：2月25日(水)～3月22日(日)

【開館時間】10：00～17：00（入館は16：30まで）

【休館日】毎週月曜日（休日の場合は翌火曜日）

【入館料】一般1,500円、大学生・高校生1,000円、中学生以下無料

※同会期中のリピーターは500円引き（一般、大学生・高校生料金お支払いの方のみ）

※20名様以上の団体は500円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方とその同伴者1名は無料

※お着物（和装）でご来館の方は300円引き

※ミュージアムパスポート5,500円

※オークラ東京とのセット鑑賞券（ランチセット6,000円、茶菓セット3,100円）

割引併用不可

【主催】公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

【企画協力】公益財団法人 出光美術館

【協力】大成建設株式会社、特種東海製紙株式会社、株式会社ニッピ、株式会社ホテルオークラ

【会場】公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3（オークラ東京前）

TEL:03-5575-5711

<https://www.shukokan.org/>

【アクセス】

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅中央改札口（泉ガーデン方面）より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅4b出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅13番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅A2a出口より8分

【展覧会に関するお問い合わせ】

（広報担当）高野明子（学芸補助）（[takano.a@shukokan.org](mailto:takano.a@shukokan.org)）

四宮美帆子（主任学芸員）（[shinomi@shukokan.org](mailto:shinomi@shukokan.org)）

（展覧会担当）平塚泰三（学芸部長）（[hiratsuka.t@shukokan.org](mailto:hiratsuka.t@shukokan.org)）

※3人宛にご連絡下さい、（■を@に変えてください）

電話：03-5575-5711、FAX：03-5575-5712

【イベント】

■講演会

「出光コレクションの茶道具について」(仮題)

講師：田中 伝 氏 (出光美術館 主任学芸員)

日時：3月7日(土) 14:00 から (約1時間)

会場：大倉集古館 地下1階ホール

聴講料：無料 (ただし入場には入館券が必要です)

定員：60人 (事前申込制、先着順)

お申込み：大倉集古館

TEL：03-5575-5711(月～金 10:00～17:00)

■特別ギャラリートーク

担当：出光美術館学芸員

日時：2/20(金)、3/13(金) 各 14:00 から (約1時間)

会場：大倉集古館 展示室 1回展示室 EV前にお集まりください。

お申込み：不要 (ただし入場には入館券が必要です)

■当館学芸員によるギャラリートーク

担当：平塚泰三 (学芸部長)

日時：2/10(火)、2/27(金) 各 14:00 から (約1時間)

会場：大倉集古館展示室 1階 EV付近にお集まりください。

お申込み：不要 (入場には入館券が必要です)

■次回展覧会

特別展 中国宋・元・明時代の漆器－世界最大の漆鉢とともに

2026年4月14日(火)～6月28日(日)

特別展 出光美術館所蔵 茶道具名品展

報道内覧会のご案内

2026年2月2日（月）

（受付）13：00～ （作品解説等）13：15～14：00 （終了）15：00

担当学芸員より展覧会のご説明や作品解説を行い、ご質問にお答えいたします。

展示室内をご撮影いただけます。

ご出席いただける場合は、下記フォームにご記入の上、FAX かメールにてご返信ください

**FAX 03-5575-5712**

**E-mail: takano.a@shukokan.org**（●を@に変えてください）

**大倉集古館 高野明子 宛**

■ご担当者様情報

貴社名	
ご担当職・ご氏名	
電話番号・FAX 番号	
メールアドレス	

■参加者（上記以外）

ご所属・役職名	ご氏名

【会場】大倉集古館 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-10-3（オークラ東京正面玄関前）

- ・東京メトロ南北線 六本木一丁目駅改札口（泉ガーデン方面）より5分
- ・東京メトロ日比谷線 神谷町駅 4b 出口より7分
- ・東京メトロ銀座線・南北線 溜池山王駅 13 番出口より10分
- ・東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2 出口より8分

※やむをえない日時や内容の変更・中止をする場合がございます。 ご来館前に当館 HP をご確認ください。

## 特別展 出光美術館所蔵 茶道具名品展 広報用画像申請書

宛先：大倉集古館 学芸部 高野明子 宛  
 FAX：03-5575-5712  
 E-mail：takano.a■shukokan.org (■を@に変えてください)

### ■図版使用に際しての注意

- ・本展覧会の紹介を目的とする内容にのみご使用ください。
- ・ご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。
- ・使用後のデータは破棄してください。・ウェブ上で使用する場合は、コピーガード等を施してください。
- ・画像への文字のせ、加工などを希望する場合はご相談ください。
- ・画像使用の際は必ず作品キャプションを載せてください。
- ・画像使用の掲載誌や放送 DVD は1部ご惠贈ください。

希望	No	作品
	1	色絵芥子文茶壺 野々村仁清 江戸時代前期 重要文化財
	2	蘭石図 玉腕梵芳 室町時代 重要美術品【前期展示】
	3	一行書「山雲溪月」沢庵宗彭 江戸時代前期 【後期展示】
	4	青磁下蕪花生 中国・南宋時代 南宋官窯 鹿島家伝来 重要文化財
	5	鉄地銀象嵌雁香炉 中国・明時代
	6	肩衝茶入 銘 師匠坊 福建系 南宋時代 大名物 前田家伝来
	7	井戸茶碗 銘 奈良 朝鮮・朝鮮王朝時代 黒田家伝来 重要美術品
	8	祥瑞蜜柑水指 中国・明時代末期 景德鎮窯 本願寺伝来
	9	古芦屋松竹梅文釜 室町時代 芦屋 重要美術品
	10	彩磁呉須絵花生 板谷波山 1952年
	11	色絵魚介文鮑形鉢 中国・明時代末期 景德鎮窯

※所蔵者名は全作品、「出光美術館所蔵」としてください。

ご住所	
貴社名	
ご担当者名	
TEL/FAX	TEL: _____ FAX: _____
E-mail	
媒体名	
発行放送予定日	